

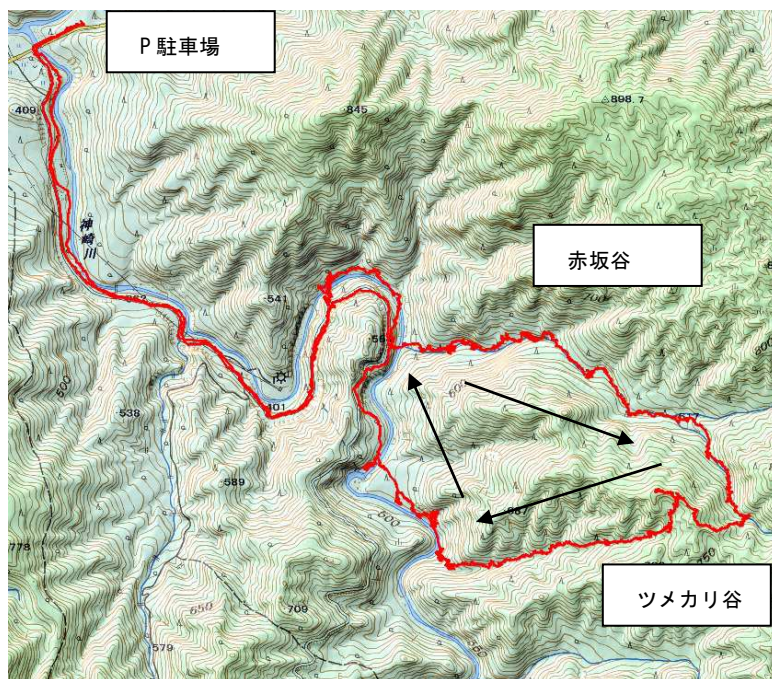
2017年5月14(日) 鈴鹿山系 赤坂谷 (神崎川系)

神戸 和広

23日 6:10 刈谷 → 7:40 神崎川林道近くの駐車場 → 8:10 林道(発電所分岐) → 8:20 地図から川への下降ポイントへ → 8:50-9:00 河原で休憩(入渓) → 9:25 神崎川本流から赤坂谷へ分岐 → 9:40-10:00 休憩 → 10:45-11:05 高巻きで懸垂下降 → 12:30 赤坂谷から尾根登 → 13:05-25 800m ピークで道確認 → カトラ谷を下降 → ツメカリ谷を模索するも時間オーバーの予想で断念 → 14:40-50 本流河原で休憩 → 15:00 巻き道に入る → 15:35 神崎川取水口堰堤から林道に戻る → 16:35 駐車場に戻る
参加者: 亀山 (OB)、小田、西川、館谷、神戸(記)

館谷さん企画のミニ全ト沢登り、阿寺溪谷を前に沢登りをしたいということで、鈴鹿の沢を選んでみた。名前は聞いたことがあるが初めての沢である。そこで鈴鹿の沢を網羅している「鈴鹿の山と谷3」から様子を確認し、ネット(沢ナビ?)で2013年記録を見て日帰り可能かとも思い計画した。しかし今回沢登り初めての西川さんもいたため、雨で増水した土曜を避けて日曜に延期し、かつ泳ぎ要素を極力避けて、流れの強い本流はできる限り巻いて何とかなった。

【概要】天気が良く真っ白な花崗岩がごろごろする河原を気持ち進んで、大きな滝を巻いて西川さんに初懸垂下降を体験してもらったり、ちょっとした岩登りを体験したり、楽しかった。しかし予定では11時に赤坂谷を出るはずが12時となり、かつツメカリ谷への下降ルートを事前学習してなかった為、何度か皆で現地確認の相談をするもののルート確信持てず結局カトラ峠からはカトラ谷に降りて行った。そこでも途中で道が違ふと館谷さん筆頭にツメカリ谷へ戻ることを検討した。しかし道の無い場所のトラバースなので危険だし消耗すると思って、最終的にツメカリ谷の沢下りはキャンセルとなった。本流に戻るとツメカリ谷側の上流は結構水量が多く、泳ぎ要素のある場所は危険な状況と推測できた。結果的に危険は避けられたが、ちょっと心残りにもなった。泳ぎは結局せず、何のためにウェットを着たかわからなかった。



沢への下降点



チムニーの要領で登ります



ゴルジュ帯には行かず

【所感】事前計画不足で皆に迷惑かけたが、久しぶりの沢登りは楽しかったし、皆さんもそこそこ楽しんでいただけたかと思う。次回は泳ぎも含めてツメカリ谷に再チャレンジしたい。最後に本流の巻き道で落ち葉の堆積したトラバース道が一番怖かった。(以上 神戸 記)